

共産党市議団 2人から3人への前進で 市民の切実な願い実現

貴重な自然環境を失う里山開発への補助金支出。厳しい暮らしのもとで、ごみ袋代値上げ・市役所駐車場有料化・文化体育施設の使用料値上げ。高橋稲城市政は開発優先、市民負担増を進めてきました。こうした高橋市政の予算に、共産党市議団以外の会派、議員は全て賛成してきました。共産

党市議団は、開発より暮らし最優先、市民への安易な負担増ストップをブレずに貫いてきました。

4年前の市議選で、2人から3人になり、3つの常任委員会に全てに所属。市民の声を届け、切実な願い実現と一緒に取り組み、市政を動かしてきました。

学童クラブ待機児解消

「学童クラブの待機児が深刻になっている」「なんとか改善をするために力を貸してほしい」との声が寄せられました。

共産党市議団は保護者と相談しながら、市長宛ての要望書の作成と1900人を超える賛同署名を集めて市長に提出。

市も「切実な声として受け止めたい」「なんらかの改善策は講じたい」と答え、2022年度予算で緊急対策事業として8か所の学童161名の定員増が実現しました。



国民健康保険税 値上げストップ、 子ども均等割り軽減実現



共産党市議団は、市議会で「国民健康保険税は、自営業者や生活が厳しい世帯が多い」「長引くコロナ過のもと、値上げを行うべきではない」と繰り返し求めてきました。2022年度予算は国税税値上げが見送られました。市議会では共産党市議団だけが唯一、国保税の値上げストップを求めています。また、子育て世帯の負担軽減として子どもの均等割の廃止を繰り返し求めてきました。2022年4月から、未就学児の5割の軽減が実現しました。

ゴミ袋値上げ、駐車場有料化 体育・文化施設使用料 軒並み値上げ 市民負担増ストップ をブレずに貫く



総額1億6千万円の市民の負担増になる、使用料・手数料の大値上げを高橋市長は4年前の選挙後に提出しました。共産党市議団は市民と一緒に値上げストップを市議会で徹底論戦しました。市議会に提出された2つの陳情「一斉値上げに説明会を求める陳情」「ごみ袋の値上げ延期を求める陳情」に賛成。共産党市議団は値上げを含む予算案に反対しました。市民の声を届け続け、市役所駐車場利用料の一部無料化を実現しました。

3人を再び市政に送り実現を

物価高騰から 暮らしを守る 共産党市議団の提案

「コロナで事業収入が減り子どもを育てるのに不安がたくさんあります」「高齢者の医療費が2倍に。高齢者にとっていかに大変かということを理解してほしい」長引くコロナ禍、物価高騰で市民は生活困難に直面しています。共産党市議団は稲城市に、暮らしを守る緊急提案を行っています。

国保税値上げ ストップ

長引くコロナ禍、物価高騰。高すぎる国民健康保険税の値上げをストップします。

学校給食費 子ども医療費 無償化

子育て世代全体を支援します。安心して給食が食べられて、子育てできる街をつくりたい。

ごみ袋代 値下げ

物価高騰から市民生活全体を支え、気候危機・ごみ減量を進めます。

